

阿仁マタギの狩猟用具 (国指定重要有形民俗文化財)

主に熊の狩猟を生業としたマタギ。「山の恵み」に感謝の念を忘れず、必要以上の獲物を捕獲しない自然と人間の共生に重きを置いて生活していた人たちが使用した槍、罾、衣装、生活用具、行商関係の用具などの293点が国指定重要有形民俗文化財に指定されています。



ユネスコ世界文化遺産登録



板状土偶

国指定遺跡 伊勢堂岱遺跡

縄文時代後期(約4000年前)の環状列石を主体とする遺跡で、これまでに4つの環状列石をはじめ、配石遺構、掘立柱建物跡、土坑墓、柱穴などが検出されています。直径30メートル以上の環状列石が4つも集中するのは他に例がなく、学術的価値も高いことから、平成13年に国の史跡に指定されました。

そして、伊勢堂岱遺跡を含む17の縄文遺跡「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産登録を目指し、令和3年7月に登録が決定しました。

綴子大太鼓 世界一の和太鼓 (ギネス認定)

弘長2年(1262年)に始まった『八幡宮綴子神社』の例大祭で、雨乞いの神事として天に届くような大きな音を轟かせるために作られたのが始まりと伝えられています。大太鼓の直径は3.71メートルもあり、平成元年にはギネスに認定されています。



根子番楽 国指定重要無形民俗文化財

源氏の遺臣あるいは離散した平家の家臣が移り住んだとされる根子集落では、古くから番楽が行われています。

根子番楽は、山伏神楽の流れをくむ活発で荒っぽい武士舞と歌詞が文学的にも優れていると称賛されています。



ガイダンス施設「伊勢堂岱縄文館」

歴史・伝統

縄文・マタギ・伝統を感じて

文化を継ぐ